

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.5.13 第 169 回国会第 19 号

5 月 13 日、第 19 回の委員会が開かれました。

1 金融商品取引法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 59 号）

- ・額賀財務大臣、渡辺国務大臣（金融担当大臣）、山本内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

中 根 一 幸君（自民）

- ・我が国の金融資本市場の国際競争力の現状を踏まえて、その強化に向けてどのような取組が必要であるか。
- ・課徴金制度の金額水準は妥当なものか。また、証券取引等監視委員会による執行体制を強化するためにはどのような取組が必要であるか。
- ・金融資本市場の競争力の強化のためには、金融専門人材の育成が必要ではないか。

関 芳 弘君（自民）

- ・海外のプロ向け市場に対して、我が国のプロ向け市場が優位性を確保するにはどのような方策が必要であるか。
- ・ファイアーウォール規制の見直しに当たり、利益相反管理体制について金融庁はどのように監督を行っていくのか。
- ・サブプライムローン問題のように、金融経済が実物経済に悪影響を及ぼすことが危惧される中、両者の在り方について金融担当大臣はどのように考えるか。

石 井 啓 一君（公明）

- ・GDP に占める金融業の割合が横ばいで推移する中、今後、金融業をどの程度の成長産業としていくかについて目標や戦略を伺いたい。
- ・株式市場における外国人投資家の売買比率が高まる中、国内投資家による投資の活性化のためにどのような方策が必要であるか。
- ・特定投資家制度においては、実体が個人投資家と同様の法人（実質一人オーナー会社等）であっても、特定投資家への移行対象法人となり、その移行に当たっては明確な審査基準がないため、審査が不十分になる危険性があるのではないかと懸念している。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・地方公共団体が特定投資家として位置付けられている理由について金融担当大臣に伺いたい。
- ・プロ向け金融商品を一般投資家へ販売することはできないが、プロ向け金融商品を組み合わせることで販売可能になることについてどう考えているか。
- ・一般投資家が特定投資家に移行するための要件の妥当性について金融担当大臣に伺いたい。

大 島 章 宏君（民主）

- ・一般投資家のプロ向け市場への参入資格要件を明確化すべきではないか。
- ・ファイアーウォール規制緩和は、銀行等の優越的地位の濫用につながるのではないかと懸念している。
- ・「貯蓄から投資へ」の流れを一層確実なものとするために、金融庁はどのような分析を行い今回の法改正に至ったのか伺いたい。

中 川 正 春君（民主）

- ・天下り問題に対する大臣の現状認識及び今後の改革方針について伺いたい。また若手職員の早期離職についてどのように考えているか。
- ・家計金融資産を貯蓄から投資へと誘導することと、国債の安定消化との関係についてどう考えるか。
- ・投資マネーの過剰流動性が商品市況に悪影響を及ぼしているとの指摘についてどう考えているか。

2 聯合審査会開会申入れに関する件

- ・株式会社地域力再生機構法案（内閣提出第 14 号）について、内閣委員会に聯合審査会の開会を申し入れることに協議決定しました。